

かきやき通信

 2012.10
vol.03

彦根市立病院は、移転新築 10 年を迎えました



移転新築直前の航空写真



住みなれた地域で健康をささえ
安心とぬくもりのある病院

CONTENTS

あいさつ	1
院内楽楽(たのらく)通信	2
知って得する病気の話—腕骨遠位端骨折について	3
知って得する病気の話—糖尿病について	5
くる人、ゆく人	7
院内探検隊—形成外科	9
院内探検隊—呼吸器科	10
院内探検隊—訪問看護ステーションほほえみ	11
がん相談支援センター	12
ようこそ栄養科へ	13
看護部だより「スマイル」	14
きらきらコメディカル—部床検査科	15
医療社会部だより	17
コラム	19
これであなたも10歳若返る!?—転倒予防体操	20
ご意見番より	21
緩和ケアかわら版	22
診療予定表	23

- 1 湖東保健医療圏の総合的医療センターとして高度な医療を提供する
- 2 安全性、信頼性の高い良質な医療を提供する
- 3 患者の権利と満足度に配慮した患者中心の医療を提供する
- 4 地域の病院・診療所と役割を分担し、保健・福祉分野を含めて連携・協力する
- 5 教育・研修機能をもつ地域に開かれた病院をめざす



これからの彦根市立病院

―地域の皆様とともに―

院長 金子隆昭



『かがやき通信』も今回で3回目となりました。この『かがやき通信』は、地域の皆様や医療機関の皆様、彦根市立病院を理解していただき、交流を深めることを目的に創刊されました。毎回皆様にわかりやすいように、彦根市立病院で行われている医療や新しい検査方法などの説明、診療科や診療部門のスタッフの紹介、病気の

まめ知識など、いろいろな情報をお届けしていますが、いかがでしょうか。

前号が発行されてから、彦根市立病院では赤松前院長が3月31日に退官され、私が後任となりました。彦根市立病院は、新築移転後10年を経過しますが、最初の基盤固めから、今後は更なる目標を目指して、ステップアップを図るべ

き時期にきています。また、今年で3回目となる病院まつりも5月26日に開催されましたが、年々参加される住民の皆様も増加し、次第に大規模なものになってきました。これも地域の皆様の彦根市立病院に対する関心の深さを表しているものと受け止めています。

現在、日本の社会は、人類がこれまで経験したことのないような少子高齢化社会を迎えようとしています。いわゆる2025年問題

もそうです。それに関連して、社会保障・税一体改革が国会で審議されていることは、連日の報道などからもご存知かと思います。これからの医療は、地域の病院の役割分担がますます明確にされ、かつその上で地域包括ケアシステムなどの構築が推進されてきます。もちろん地域全体で対応していかなければならないのは、救急医療の体制にも当てはまることです。

彦根市立病院も将来を見据えて地域医療における役割を再確認し、地域医療に貢献するための方向性を模索していかなければなりません。病院まつりや『かがやき通信』のようなメディアを通じて地域の皆様に彦根市立病院を理解していただくとともに、皆様とともに地域の医療について意見を交えていくことは、極めて大切なことだと考えます。

彦根市立病院では、どのような診療が行われているのか、また地域における役割は何かなどについて、地域の皆様に関心を持っていただき、積極的なご意見を賜りたいと思います。今後も『かがやき通信』で、いろいろな情報を発信していく所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。



院内楽楽通信

第3回彦根市立病院ふれあいまつりを開催しました

今年で第3回を迎える彦根市立病院ふれあいまつりを5月26日(土)に開催しました。今年は、「知ってほしい!自分の健康、みんなの病院」をメインテーマとして、昨年より規模を拡大し開催しました。当日は、天候に恵まれ五月晴れのもとに約3000人が来場し、イベントを楽しみました。

3回目ということもあり、相談コーナーだけではなく測定体験コーナーにおいても、測定後の相談を行うなど各出展者の工夫があ



オープニングセレモニー 古城太鼓



模擬店



フェルト作り体験



フリーマーケット



ひこにゃんと蘇生術



最新医療機器展示

りました。模擬店コーナーでは、彦根みずほライオンズクラブからも模擬店を出店していただき、お昼ご飯時には、長蛇の列ができるほど大盛況でした。

今回も昨年同様、彦根市立病院健康講座、看護の日イベントを兼ねて開催し、健康講座では、医師と来場者が意見交換をする「白熱教室!患者の言い分・医師の言い分」が開催され、病院の現状についてお互いが意見を言い合いました。また、看護の日のイベントで

は、妊婦体験や将来の看護師を目指す?「未来のナース誕生」などたくさん出展し、大人から子供まで楽しく参加されました。

来場者には、病院で働く職員のパネル展示などもご覧いただき、彦根市立病院が頑張っている姿を感じ

取っていただいたのではないでしょう。これからも、地域住民の皆さまに親しまれ安心とぬくもりのある病院を目指して取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

☆知って得する病気の話

とう ころ えん い たん ころ せつ

橈骨遠位端骨折について

整形外科 堀 裕彦

症状

手首に強い痛みがあり、短時間で腫れてきます。けがの仕方によって違います。手のひらをついて転んだあとに、食器のフォークを伏せておいたような変形が見られます。

手がぶらぶらで力が入らず、反対側の手で支えなければならなくなります。ときには、折れた骨や腫れによって神経が圧迫されて指がしびれることがあります。(図①②)



(図①②)

原因と病態

手のひらをついて転んだり、自転車やバイクに乗っていて転んだりしたときに、前腕の2本のうち橈骨が手首のところ（遠位端）で折れる骨折です。

特に、閉経後の中年以降の女性では骨粗鬆症で骨がもろくなっているので簡単に折れることがあります。若い人でも高いところから転倒して手をついたときや、交通事故などで強い外力が加わるとおこります。小児では、橈骨の成長軟骨板のところで骨折が起こることがあります。

いずれの場合でも、前腕のもう1本の骨である尺骨の先端やその手前の部分が同時に折れる場合もあります。

診断

レントゲン検査で骨折が見られます。骨の折れ型で治療方針が異なります。

折れた部分が単純で骨折線が1本だけか、いくつもの小さい骨片がある不安定な骨折か、いくつかの小さな骨片がある不安定な骨折か骨折線が関節内に及んでいるかで治療方法の方針を決めます。骨折の詳細を調べるためにCT検査を行うケースもあります。

治療

骨折部のずれのないものは、ギプスによる保存的治療を行います。固定期間はおおむね3〜4週間であることが多いです。

骨折部のずれを伴うものは、まずは徒手整復してのち、ギプス治療を検討します。

整復操作をしてもずれが解消できないケース、最初は整復されても途中でギプスの中で骨折部のずれが起こるケース、骨折部の粉砕が強いケース、関節内に骨折が及ぶケースは、手術治療が必要になります。

手術

以下のような方法があります。

①経皮的鋼線刺入固定術(図2)

骨折線が1本のもので骨粗鬆症がないケースでは、皮膚の上から骨折片に刺入して固定する方法です。固定後もサポートとしての装具やギプス固定を必要とする事があります。

術後3〜4週間で鋼線を抜去し積極的

なりハビリ治療を開始します。おもに小児や若年者の粉砕の少ない骨折に検討されます。



(図2)

②創外固定法(図3)

手のひらの部分の骨と手首の骨にピンを刺入してそれにけん引装置を装着して骨折部の短縮をとることで骨折部の整復、安定を得る方法です。骨折部の粉砕の強いケースに検討されます。



(図3)

③プレート固定法(図4)

骨折部を直接開けて骨片を整復して金属のプレートで固定する方法です。骨折部の粉砕の強いケースや関節内に骨折線が及ぶものに適応されます。



(図4)

上記が代表例ですが、各々のケースを良く検討しながら治療法を決定していきます。

ある程度骨折部の癒合が得られたのちに、積極的なリハビリを開始していきます。

最近ではプレートとネジがかみ合う『ロッキングプレート』が開発されてからは、プレートで骨折部の固定が強固に行われるために、手術後早期から積極的なリハビリが可能なケースも多数あります。

☆知って得する病気の話

糖尿病について

内科 黒江 彰

糖尿病とは

糖尿病とは血糖値（血液中のブドウ糖の濃度）が慢性的に高い代謝疾患の総称です。戦後まもない頃の糖尿病患者さんは多くて数十万人でしたが、現在では890万人となり予備軍を含めると2210万人と推定されています。血糖値の高い状態が続くと、体中の血管や内臓の細胞が少しずつ障害され、気がついた時には目や腎臓、神経などが正しく働かなくなります。さらに進行すると脳梗塞、足の壊疽（組織の腐敗による壊死）や腎不全から人工透析にまで発展し命の危険にさらされます（図1）。

では糖尿病になりやすいのはどんな人でしょうか。糖尿病は、膵臓で作られるインスリンが充分に出なくなる病気なのですが、日本人は欧米の人たちに比べ、インスリンを作る量が少ない事が知られています。肥満で体に脂肪が増えるとインスリンの効きが悪くなり、たくさんインスリンが必要になりますが、それに体が対応できないと糖尿病の発症につながります。もともと大量のインスリンを出しづらい日本人は、少し太るだけで糖尿病になりやすい民族であると言えます（図2）。肥満と言っても外見



脳梗塞
非糖尿病に比し
2~3倍高頻度



足壊疽
非外傷性足切断の
原因第1位

糖尿病
890万人



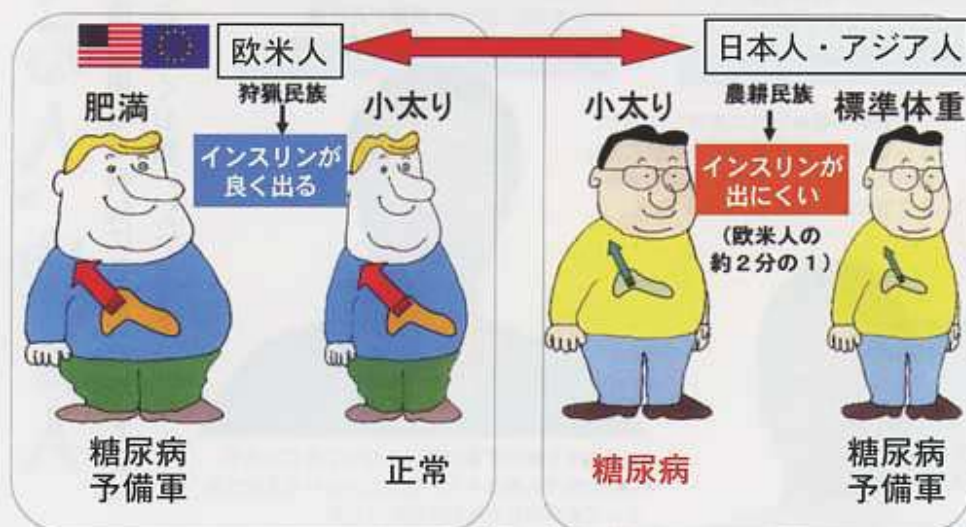
網膜症
年間4,000人が新たに失明



人工透析
年間15,000人が新たに透析

(図1)

日本人は糖尿病にかかりやすい



(図2)

上目立つ皮下脂肪よりも内臓脂肪が糖尿病の大きな要因になっています。糖尿病を予防するためには過食を避け、よく運動して内臓脂肪をためないようにする事が重要です。同じ体重の人でも余分の脂肪がなく、筋肉に置き換わっているスポーツ好きの人は、糖尿病をはじめとした生活習慣病にかかりにくくなります(図3)。

糖尿病の予防には

正しい食生活の実践



筋肉増強による基礎代謝の上昇



(図3)

糖尿病と診断された人の治療の最大のポイントは、管理栄養士から正しい食事療法を教わり運動療法と共に続けることです。合併症の段階によって食事の指示内容や運動量が変わる事がありますので、必ず医師に相談してください。これらを

実践した後に必要なら内服や注射の治療が加わりますが、ここで薬に頼って食事が乱れると途中で薬が効かなくなり、治療は悪循環に陥ってしまいます。糖尿病食と聞くと無味乾燥な食卓を想像しがちですが、工夫次第でおいしく豊富な量の食事を楽しむことができます(図3)。

まとめ

糖尿病の予防及び治療をする時には、以下の事をよく覚えて実践してください。

① 腹八分目でよく動く。

遠い昔の祖先は食物が自由に手に入らなかったため、運動量が多く少量の食物で過ごしていました。人間の体は昔の生活に適して作られていますので、腹八分目と適度な運動は健康を目指す基本と言えます。

② 病気をナメない、治療を投げない。

糖尿病を甘く見て後悔する人が多い反面、どうせ無理だと治療を投げだす人もいます。今は昔と比較にならない程よい薬ができています。昔の患者さんに比べて得をしている事を忘れずに正しい治療を実践してください。

③ 医療機関への通院をやめない。

ママに通院しているのにどんどん悪化する人はめったにいません。通院中断例は99%が次回受診時に悪化しています。通院と正しい生活習慣の継続が大切です。

くる人、ゆく人

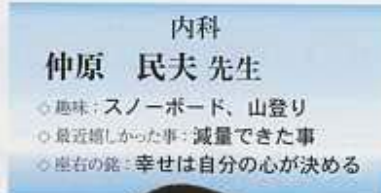
この度、彦根市立病院に赴任いたしました。
どうぞ宜しくお願いいたします。



内科
浅井 愛 先生

- ◇趣味：スキー、コントラバス
- ◇最近嬉しかった事：何年も会っていなかった友人と会ったこと
- ◇座右の銘：特になし

滋賀医大附属病院に勤務しておりましたが、この度彦根市立病院に赴任いたしました。地域に貢献できるような医療をと考えております。

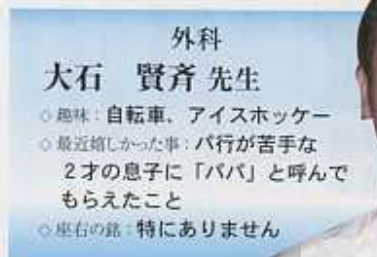


内科
仲原 民夫 先生

- ◇趣味：スノーボード、山登り
- ◇最近嬉しかった事：減量できた事
- ◇座右の銘：幸せは自分の心が決める



最近体を動かす事が楽しくなっています。仕事の面でも働きやすい環境でいろいろさせてもらってる事がとてもありがたいです。

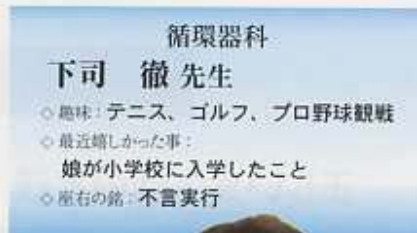


外科
大石 賢斉 先生

- ◇趣味：自転車、アイスホッケー
- ◇最近嬉しかった事：バ行が苦手な2才の息子に「パパ」と呼んでもらえたこと
- ◇座右の銘：特にありません

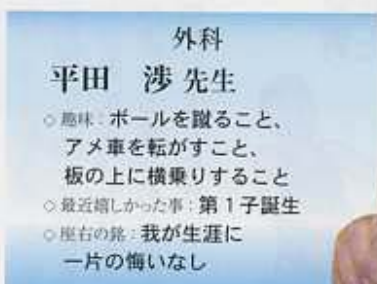


神戸から自転車に乗ってやって来ました。彦根市民の為に病院の備車となり働く所存です。



循環器科
下司 徹 先生

- ◇趣味：テニス、ゴルフ、プロ野球観戦
- ◇最近嬉しかった事：娘が小学校に入学したこと
- ◇座右の銘：不言実行



外科
平田 渉 先生

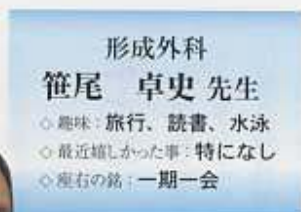
- ◇趣味：ボールを蹴ること、アメ車を転がすこと、板の上に横乗りすること
- ◇最近嬉しかった事：第1子誕生
- ◇座右の銘：我が生涯に一片の悔いなし



僕はこわい人でも悪い人でもありません。



福井からやって参りました。長浜市の出身です。みなさまのお役に立てるよう頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。



形成外科
笹尾 卓史 先生

- ◇趣味：旅行、読書、水泳
- ◇最近嬉しかった事：特になし
- ◇座右の銘：一期一会

彦根市だけでなく、湖東地域の医療を担っている伝統のある彦根市立病院に少しでも役立てるように精進したいと考えております。よろしくお願いします。



泌尿器科
沖中 勇輝 先生

- ◇趣味：読書
- ◇最近嬉しかった事：2歳の甥っ子がなつてくれた事
- ◇座右の銘：一期一会

4月から赴任した沖中と申します。少しでも皆様の力になればと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



脳神経外科
中久木 卓也 先生

- ◇趣味：テニス、野球
- ◇最近嬉しかった事：子供の成長
- ◇座右の銘：起きて半畳寝て一畳

彦根の医療に少しでも貢献できるよう頑張ります。

皮膚科
戸田 和美 先生

- ◇趣味：旅行（子供が産まれてからは全然行けてませんが）
- ◇最近嬉しかった事：保育園に迎えに行くと、子供達が「ママー」と言いながら抱きついてくれること。毎回嬉しいです。
- ◇座右の銘：

滋賀県出身です。高校は彦根東高校だったので、今回の異動で彦根には縁があるなあとしみじみ思っています。この病院は他科やコメディカルとの垣根が低くて働きやすく、助かっています。これからもどうぞよろしくお願いします。



眼科
平井 宏二 先生

- ◇趣味：映画を見る、旅行に行く
- ◇最近嬉しかった事：山口県の西長門に旅行に行ったこと
- ◇座右の銘：継続は力なり

4月から眼科を担当しています。よろしくお願いいたします。



臨床研修医
林 雪 先生

- ◇趣味：旅行、小説を読む
- ◇最近嬉しかった事：特になし
- ◇座右の銘：千里の道も一歩から

彦根市立病院で研修できることをうれしく思います。親しい先生にご指導頂きありがとうございました。一年間頑張りたいと思います。



臨床研修医
小林 恭子 先生

- ◇趣味：ネットで海外ドラマを見ること
- ◇最近嬉しかった事：さつまいもの苗がちゃんと根付いたこと
- ◇座右の銘：一期一会

彦根市立病院で研修医として始めさせていただけたことに感謝しています。地域の人に貢献できるような医師になれることを目指して頑張っていきたいと思っています。



平成23年7月～平成24年6月の退職者(退職月順)

◆取越 貞治	(脳神経外科専攻医)	H23.6.30
◆武輪 和男	(眼科医長)	H23.9.30
◆森本 貴昭	(脳神経外科専攻医)	H23.12.31
◆林 哲彦	(耳鼻いんこう科専攻医)	H23.12.31
◆藤城 綾	(内科専攻医)	H24.3.30
◆和田 晃典	(泌尿器科専攻医)	H24.3.30
◆赤松 信	(院長)	H24.3.31
◆渡邊 友純	(整形外科医長)	H24.3.31
◆稲本 将	(外科医員)	H24.3.31
◆高山 悟	(皮膚科医長)	H24.3.31
◆上村 紀子	(麻酔科医員)	H24.3.31
◆中尾 哲史	(循環器科医員)	H24.3.31
◆藤本 剛英	(内科専攻医)	H24.3.31
◆品川 恭一	(歯科口腔外科専攻医)	H24.3.31
◆小林 環	(脳神経外科専攻医)	H24.3.31
◆許 櫻華	(臨床研修医)	H24.3.31
◆仲山 貴永	(臨床研修医)	H24.3.31
◆濱井 優輔	(臨床研修医)	H24.3.31
◆橋田 修平	(外科嘱託医)	H24.3.31
◆橋田 敏子	(麻酔科嘱託医)	H24.3.31
◆鈴木 雅丈	(眼科医員)	H24.4.15
◆井口 有子	(形成外科医長)	H24.5.31
◆永田 学	(脳神経外科嘱託医)	H24.6.30

～在職中は、大変お世話になりました～
昨年9月現在と比べると、常勤医は2名増加しています。

◎院内探検隊◎

—形成外科—

みなさんこんにちは、今回は当病院の形成外科を私、木村が紹介させていただきます。

形成外科は整形外科と名前が似ていて、よく混同されがちな部分があり、皮膚科や美容外科等とはどう違うのか？などの質問等を受けることが多々あります。

形成外科は主に、身体の外表を中心とした疾患（腫瘍・外傷・瘢痕）や生まれつきの異常による変形、熱傷、しみ・ほくろ等に対して主に手術を中心に治療しており、予定手術だけでなく外傷等による緊急手術も行っている診療科です。

今回は我々、形成外科医がどういった診療をしているのか？スタッフ紹介を含め、簡単に紹介させていただきます。



外来手術・レーザー施術写真

外来で可能な小手術やレーザーでしみ・ほくろの除去をしています。



褥瘡外来写真

部長の伊藤先生を中心に皮膚排泄ケア認定看護師や各種スタッフによる連携プレーで褥瘡（いわゆる床ずれ）や皮膚潰瘍の治療等をしています。



形成外科に少しでも興味を持って見学に来てくれた、滋賀医科大学の学生（6年生）です。

スタッフは右記3名と決して多いわけではありませんが、みんなで助け合って日々診療に当たっています。



笹尾先生

木村先生

伊藤先生

…スタッフ紹介…

部長の伊藤先生は当院に勤務され、10年近くと長年にわたりこの彦根の形成を支えてこられ、治療に関する相談等に関して、常に適切な指導・アドバイスを下される、家族思いの優しい先生です。最近の水泳・ジョギング・散歩などが趣味のようです。

医長の笹尾先生は今年の6月に大阪から当院に来られました。フットワークが軽く明るくて後輩思いの先生で、頼れる兄貴的な存在です。

専攻医の木村です。当院に来てまだ1年弱程度ですが、日々多くの経験をさせていただいています。宜しく願います。

◎新しい仲間◎

いのちに寄り添うケアを…

訪問看護ステーション

ほほえみです

みんな
とっても
仲よし!

☆病院前交差点を入ってすぐ左にある『医療情報センター』の中に事務所を構えて2年6か月。
☆彦根市立の訪問看護ステーションとして、福祉保健センターに平成7年に設置。この4月から組織体制が市立病院へと変わり、名称も彦根市立病院訪問看護ステーション（愛称）ほほえみとなりました。
☆市民の健康を支えるパートナーとして、手を取りあって地域医療の充実に力を尽くします!

～在宅療養生活の応援団～

★ほほえみのスタッフで～す★



出口

横田

小田

北村

富江

伊郎

梅本

坂本

事務

宇水

柴田 恵子 所長

熱さで私の
右にでる者は
いない!

地域医療のネットワークづくりを真剣に
考え、推し進めてきた「立て役者」!
地元でも在宅医療講演会などで活躍中!
研修会・体験実習など、大歓迎★
また、お声をかけてください☆
…とのこと。

意外と知られていない～訪問看護～

訪問看護ってどんなことしてるの?

～病気や障がいがあっても、住み慣れた自宅で自分らしく過ごす～

そんな当たり前の希望を可能にできるのが、訪問看護です。

療養生活を送っている方の家などを訪問し、必要に応じて看護や医療処置を行います。

訪問看護の内容

病状の観察および管理

食事(栄養)の管理および援助

排泄の管理および援助

清拭・洗髪・入浴等の保清の援助

床ずれの予防・処置

リハビリテーション

その他、主治医の指示に基づくもの

カテーテル等の管理

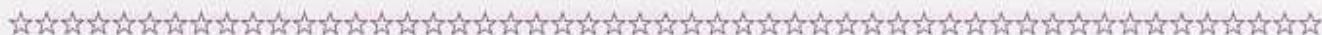
認知症患者の援助

ターミナルケア

家族、その他の介護者に対する
指導および相談

在宅移行支援

退院前に病院に伺い、
安心して自宅へ帰る
準備から支援



**24時間
365日対応**

♥実際の役割は、多岐にわたります…♥



平成19年（2007年）から365日24時間連絡体制。
夕方から夜間・早朝時も、電話が待機の携帯電話につながります。
緊急時の訪問はもちろんのこと、不安を抱える介護者さんの相談にのり、どうすればよいかを考え、対案を提供したり、主治医やケアマネージャーとの連携、介護専門職との協働など、つねに迅速に最良の方法を判断し対応に努めています。

これを可能にするには、受け持ち看護師を中心に、普段から病状や家族の状況を把握し、ストレスやリスクを予測すること、前もってスタッフ間で情報のやりとり・カンファレンスを行うこと、そして状況に合わせた緊急連絡体制をつくっておくことが大切です。利用者さんの立場におもいを寄せ、文字通り「在宅療養の24時間」を支えられるよう努めています。



特に終末期（ターミナルケア）では、昼夜を問わず刻々と変化する身体に合わせたケアや、がんの疼痛コントロールなどを行い、ご本人や家族にとって「有意義な時間を過ごせて、ほんまに良かった」と思える自宅での看取りを支えています。



がん相談支援センターからのお知らせ

◇市民公開講座開催のご案内◇

「乳がんが見つかったら」

講師：副院長 外科 寺村 康史

平成24年11月10日（土）午後1時～2時

彦根市立病院 医療情報センター

- 対象者：どなたでもご参加いただけます。
- 募集人数：60名（定員になり次第、受付を終了させていただきます。）
- 受講料：無料



参加ご希望の方は、下記の電話番号またはEメールにてお名前をお伝えください。

彦根市立病院

がん相談支援センター 松本

電話：0749-22-6050（内線1255）

Eメール：gansoudan@municipal-hp.hikone.shiga.jp

「ようこそ、栄養科へ」

みなさんこんにちは。今回は当院の「栄養サポートチーム」について紹介をさせていただきます。

◎栄養サポートチーム（NST）とは

栄養サポートチームは、専門知識や技術を持った複数の職種（医師・栄養士・看護師・薬剤師・言語聴覚士・臨床検査技師など）が、チームを組んで患者さんの栄養管理にあたります。入院時に個々の患者さんの栄養状態を的確に判断し、患者さんの体格や病状に合わせたよりよい栄養治療を行うことで患者さんの栄養状態を改善し、治療効果を挙げる事が目的です。

入院時に栄養障害がないと判断された患者さんに対しても、病棟担当栄養士が定期的な栄養評価を継続し、必要があればNSTへの介入を促すことで、入院中の栄養障害発生や状態悪化を見逃さないよう努めています。

また、褥瘡回診チーム・緩和ケアチームなど他のチームとも連携し、患者さん中心のチーム医療を展開しています。



NSTカンファレンスの様子

◎NST専任栄養士

池田晴美さんからひとこと

当院では各病棟に管理栄養士が配置されており、医師・看護師をはじめとする他職種とコミュニケーションがとりやすい環境にあります。各病棟毎の栄養カンファレンスも活発に行われており、これらの恵まれた環境を生かし、これからもお互いの顔の見えるNST活動を継続していきたいと思っています。



厨房探検隊！



炊飯器です。今からごはんを炊くところです。



回転釜です。色々な料理で大活躍します。人が一人入ってしまうほどの大きさですよ！



厨房事務所です。おいしい献立を立てているところです。



嚥下食を作っています。患者さんの嚥下状態に合わせて飲み込みやすい形態にしています。おいしそうに見えるよう、工夫しています！

経腸栄養剤も厨房でセッティングして病棟に上げています。

あたたかいものはあたたかく、冷たいものは冷たく、心をこめて作り、患者さんのもとに運んでいます。

看護部だより 「スマイル」



感染管理認定看護師
多湖 ゆかり

当院では平成24年4月に感染対策室をリニューアルしました。

それまでは医療安全推進室の中にあり医療安全の「環」として存在しましたが、その重要性を考慮し独立した組織となりました。

感染対策室では、患者・医療従事者・その他病院を訪れる人すべてを感染から守るためにICT（感染対策チーム）を作って活動をしています。



ICTコアメンバー



病院ふれあいまつり

チームメンバーにはICD（感染制御医）の資格を持つ医師やCNIC（感染管理認定看護師）の資格を持つ看護師、ICMT（感染制御認定臨床微生物検査技師）の資格を持つ検査技師、薬剤師、事務員などが所属しています。22名のICD（感染対策委員会）のうち13名がICTのメンバーです。私はICTの二員としてH18年にCNICの資格を取得後、6年が経過しさまざまな取り組みの結果、今日では院内の状況もかなり改善されました。

また、日本全体の動きとしても「平成24年度の診療報酬改定」では、感染症対策推進が重要視されこれまでにない過去最高の評価がなされました。これは組織の活動にも有利に影響する事が期待され、患者さんに安全で安心できる療養環境をお届けできる体制がさらに充実されることとなります。そして、院内だけでなくICTのある医療機関とその他の医療機関やICTを持つ医療機関同士が相互に連携する事なども評価され推進されるため、地域ぐるみでの感染対策の底上げも期待できます。

CNICとしては、院内のみならず院外の施設にも感染対策推進のための講演などを行っております。また、みなさんの期待にお応えしてより多くの情報を提供するために、国内およびアメリカの学会への参加・病院訪問などを通して知見を広めています。私たちICTのメンバーは入院されている患者さんだけでなく市民の方とも触れ合うために病院ふれあいまつりなどでも感染対策のコーナーを設け、地域全体の感染対策向上を目指しています。



アメリカの病院訪問



看護協会での講演

きらきら コメディカル

臨床検査科

正確で迅速な臨床検査を目指して

臨床検査科長 茂籠邦彦

検査科長



臨床検査科には検査技師二十三名、事務官一名の二十四名が勤務し、一階にある検体検査（血液、尿）、生体検査（心電図、脳波）と二階手術部傍にある病理検査（組織、細胞診）に分かれて業務を行っています。

昨年から早朝出勤体制を組み、朝に集中する検査を少しでも早く報告できるように努めています。生化学・心電図・脳波のシステムの更新を終え、今年は血液・尿・肺機能システムの更新を予定しています。

また学術活動にも力を入れ、学会、研修会に全国を飛び回っています。

生理検査室



心電図・超音波・脳波などの検査をしています。患者さんとのふれあいを大切にしています。

- 一、信頼性の高い検査
 - 二、迅速な検査と報告
 - 三、先端技術の導入
 - 四、温もりのある対応
- を常に心がけ、急性期医療を担う当院の使命を臨床検査を通じて果たします。

血液・生化学検査室



生化学
血液中に含まれる様々な成分を分析し、病因・治療の効果を究明しています。

血液

主に貧血の検査、ワーファリンなどを服用されている方の凝固検査のモニタリングや輸血の検査を行っています。

患者さんから摂取した色々な材料から細菌を培養し、感染症の原因菌と効果のある抗菌剤を調べる検査をしています。

細菌検査室





病理検査室



主な業務は、病理細胞検査・病理組織検査・病理解剖検査です。疾病の診断を行うために、患者さんから採取した臓器・組織・細胞などを詳しく調べています。

主に、尿・便の検査を行っています。非侵襲的に採取することができ、スクリーニング検査として、重要な検査です。

一般検査室



検査科事務



新しい生化学分析器



健診センターで頑張っています



血液像を見てます



血液型の判定中



薄切中！



検体を培地に塗ってます



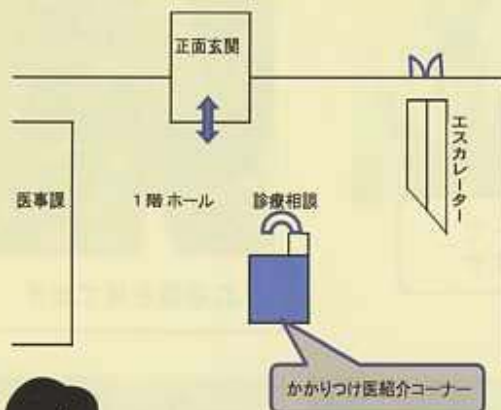
手術検体の撮影



医療社会部だより



かかりつけ医紹介コーナー位置図



場所：1階ホール
 受付時間：平日9:00～13:00
 お問い合わせ
 彦根市立病院
 地域医療連携室
 電話番号：0749-22-6053
 FAX番号：0749-22-6093

「かかりつけ医紹介コーナー」を設置しました

彦根市立病院は、専門的な治療である急性期医療を中心に行う病院です。そのため、かねてより外来通院されている患者さんに「かかりつけ医」をもっていただくことをお勧めしてまいりました。

このたび、病状が安定している患者さん（専門的な治療や検査を頻繁にする必要がなく、お薬だけをもろうために当院へ受診される方）を対象に、院内に「かかりつけ医紹介コーナー」を設置し診療所の先生へのご案内を行っています。

患者さんやご家族に安心して「かかりつけ医」を受診していただくため、「かかりつけ医紹介コーナー」を設置したところです。

ご相談をご希望される方は、受診されている科の医師や看護師にお申し出くださるか、直接お立ち寄りください。

「かかりつけ医」 Q&A

「かかりつけ医」ってなんでしょう？

患者さんやご家族に身近に接し、日常的な健康管理をしてくれるお医者さんを「かかりつけ医」と呼びます。定期的な診療の他にも、健康相談や指導も含めた、様々な問題を気軽に相談できるお医者さんです。

なぜかかりつけ医が必要なのですか？

いざという時に、患者さんの病歴や体質、生活環境などを理解した上で、的確な診療がしていただけます。また、専門的な治療が必要な場合には、病状に応じて、適切な病院や専門医を紹介してくれる頼もしいお医者さんです。ご自宅でご家族の介護をされている方にとっても、かかりつけ医は心強い存在です。外出の困難な患者さんに往診をしたり、急変時に自宅に駆けつけてくれるお医者さんもあります。

彦根市立病院を受診できなくなるのではないですか？

専門的な治療や検査が必要になれば、「かかりつけ医」からの紹介により、患者様に待ち時間が短く円滑に当院を受診していただけるシステムになっています。また、万一、入院治療が必要になった場合には、「かかりつけ医」と当院の医師とが共同で治療を行う「開放病床」と呼ばれる病床も設けています。

新メンバー 紹介



医療相談室
田中医療ソーシャルワーカー

医療社会部
堤参事

地域における医療連携体制の強化が求められる中、医療社会部のより一層の充実を図るため、新年度から3人のメンバーが加わりました。

まず、堤参事です。参事は地域や彦根、行政を知り尽くしたベテラン事務職員で「医療社会部の何でも相談役」です。もう一人は、河分看護師です。本院での看護師経験を生かし、地域医療連携室長とともに「かかりつけ医紹介コーナー」の担当をしつつ、来院の方々の「ちょこっと相談」対応をしています。肝っ玉母さん的な病院玄関の顔ですね。あと一人は、田中医療ソーシャルワーカーです。バイタリティーがあり、培った知識をフルに活かして温かく相談に対応しています。

これで、本院のソーシャルワーカーは4人になり、さらなる医療相談業務の充実に努めます。これからも病院と地域の窓口として「医療社会部」をよろしくお願いいたします。

N先生のこと

名誉院長 赤松 信



私が医師になりたての頃ですから、もう40年近くも前のことです。

当時わたしは、大学病院の外科で研修を始めたばかりの新米医師でした。はじめて指導医と一緒に受け持った患者の中に、肝臓ガン末期のおじいさんがいました。真っ白な総髪で小柄ながら品があり、元気な頃はさぞかし背筋の伸びた矍鑠とした方だったにちがいないと思わせる風貌でした。腹水で腹がふくらみ、起きることもままならず、見るからに苦しそうでしたが、一言も苦しいと訴えることなく、不慣れなわたしの点滴の失敗にも黙って耐えてくれました。ある日、尿閉を来し導尿することになったのですが、はじめての私は緊張してゼリーをたらすのを忘れてしまいました。それを見た患者さんは静かに

「先生、粘滑剤を塗ってください」

と言われました。わたしは顔を赤くしながらキシロカインゼリーを塗り、はじめての導尿をしました。その患者さんは、彦根市で開業されている大先輩の外科医N先生（大正15年卒）だったので

す。それ以降、「先生、絵はお好きですか」とか、「彦根には行かれたことがありますか」とか、若僧のわたしに丁寧な言葉で話かけられました。当時のわたしは、がん末期の患者さんで、しかも外科の大先輩に対してちゃんとした会話のできる経験も知識もなく、そばに座ってじっくり話し込むようなことができませんでした。そのことを今も残念に思っています。N先生は、命の終わりをさと

り、医師になりたての私と、何か心の通じる話をしたかったのではないかと思います。ほどなく先生は亡くなられ、私は医師になって初めて患者の臨終に立会い、病理解剖を見学しました。腹水をカップで計量したところ18Lもあったことを記憶しています。人間の腹にはこんなに水が入るものかと思いました。肝臓は肝硬変の終末像で、肝癌はありませんでした。当時はエコーもCTもなく、その程度の診断でさえ、開腹しなければわからなかったのです。

のちにわたしが彦根に行くことになったのは、実に不思議な縁というほかありません。というのは、そのN先生は、わたしの赴任した彦根市立病院で、昭和の初期に20年間外科部長の職にあり、その後、彦根市内で開業された文字どおりの大先輩であったのです。その外科医院の建物がお城の近くに残っており、絵が先生の趣味であったことも、お見受けしたとおりの矍鑠とした先生であったことも、地元の知人からうかがいました。何年かのち、私は彦根に2度目の赴任をし、外科部長となり、N先生のあとを継ぐことになったのです。

ところが、不思議な縁はそれだけでは終わりませんでした。

4年前、本院の小児科に、大学の医局から女性の小児科医が来てくれることになりました。

「その先生のおじいさんが、以前彦根で開業していたらしいですよ」

と、小児科の教授から電話があったとき、女医さんのお名前がN先生と同じでしたから、すぐにピンとききました。奇しくもN先生のお孫さんだったのです。

そのお孫さんに、N先生が亡くなられたときのお話をしたところ、

「当時、私は中学生でした。おじいさんがなくなったという知らせを聞き、病室にかけつけたところ、解剖室に運ばれた後だったのです。」

ということでした。その時、顔を合わせたという記憶はありませんが、何年もの時をへだててつながった縁の不思議さを感じます。わたしも、その小児科医も、何かにいざなわれて彦根に来たようにさえ思えます。お孫さんとわたしが、同じ彦根市立病院で働いていることを、N先生があんな世から見られたらどんな感想をもらされるでしょうか。

N先生のお墓は京都にあるということですが、まだお参りには行っていません。

これであなたも10歳若返る!?

転倒予防体操

～健康体操その3 下肢の内転筋・外転筋の運動～

リハビリテーション科 伊藤 太久哉・春日 真由美

今までにご紹介した運動は行えていますか？今回はバランスを保つのに重要とされている内転筋群、外転筋群とよばれる股関節を囲む筋肉の運動を紹介します。これらの筋肉は骨盤の安定に関与し、ふらつきやつまずきによる転倒の予防に重要な筋肉とされています。今回の運動も転びにくい体作りに大切な運動ですので、今までの運動と組合せ行ってみましょう。

<内転筋群の運動>

この運動は**太ももの内側**を鍛える運動です。

方法：（写真1）

- ①椅子に座りひざの間にボール（タオルやクッションでも良い）をはさむ。
- ②ボールをつぶすようにひざを閉じる。10秒程度続けましょう。



（写真1）

<外転筋群の運動>

この運動は**太ももの外側**を鍛える運動です。

方法：

- ①椅子や机に手をつきまっすぐ立つ（写真2）。
- ②体はまっすぐの状態を保ちながら、片足ずつ足を外側に持ち上げる。10秒程度続けましょう。これを左右ともに行ってください。無理に上げ過ぎる必要はありません（写真3）。



（写真2）



（写真3）

※前回同様、空いている時間を見つけ、各運動を1日5～10セットずつ行って下さい。

～ご意見番より～

Q. 3歳ぐらいまでの子供の見舞い客は極力やめてほしい。

A. お見舞客の制限はむやみにはできません。その患者さんにとって療養上の励みになるなどの効果もあるため、制限をすることは妥当だと思いません。しかし、他の患者さんへの配慮などは考慮すべきことであり、私たちスタッフもそれについては声かけが必要になると思います。これらのことを病棟スタッフにも周知していきます。

Q. 眼科医師が1人になり、診察の状況が非常に厳しい。1日も早くもう1人先生を増やしてほしい。

A. 4月以降、眼科診察の待ち時間が長くなるなど、患者さんには大変ご迷惑をおかけしておりますことから、現在、大学や他の医療機関等へ眼科医師派遣のお願いをしているところです。全国的に医師が不足する中、眼科医の確保も困難な状況にありますが、できるだけ早期に診療体制の充実に図りたいと考えています。

Q. 車椅子のタイヤの空気が入っていなかった。車椅子は定期点検されていないように思う。

A. 車椅子の点検については、病院総務課が随時、修理点検をおこなっているところですが、ご要望に十分応えられるように、月1回の定期点検を実施していきますので、ご理解いただけますようお願いいたします。なお、タイヤの空気が入っていないなどお気づきの点がございましたら、スタッフまでお声かけください。



誉 とても環境の良い病院だと思った。桜の花がとても美しく感動した。親切にいただき、心より御礼申し上げます。

誉 この病院のように美しい場所で最期を迎えることができ祖父も喜んでいと思います。本当にありがとうございました。

誉 折鶴と一緒に絵柄を挿入したメールカードをいただいた。これは良い企画だと思う。



フルートコンサート



優しい音色に心が和みました。

ゴスペルコンサート

素敵な歌声に感動しました。

診療予定表 (平成24年10月1日現在)

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	1診(総合診)	三瀬	安原		清水		宮本		清水(第1・3・5週) 鎌賀(第2・4週) 消化器Dr.第4週 月野(第5週)	
	2診(消化器)	来住	仲原		浅野		永岡		田辺	
	3診(消化器)予約制				保科 (腎臓内科)		横野			
	4診(消化器)予約制 午後再診	永岡	浅野		横野		仲原		来住	
	5診(血液)予約制 午後再診	浅井		吉川	浅井		吉川		吉川	
	6診(糖尿病/内分泌) 午後再診予約のみ	矢野	黒江		矢野		黒江		菱澤	
	7診(糖尿病/内分泌) 再診予約制	松尾(第1・3・4週) (膠原病) (完全予約制)	原田(第1週)・菱澤(第2・3週) 田原(第4週)・近藤(第5週午前) 原田(第5週午後)		黒江		原田		矢野	
循環器科	1診(午後は予約のみ)	綿貫	綿貫	下司	中野		日村(第1・3・5週) 宮澤(第2・4週)		日村	根本
	2診(予約制)	日村		日村	池田				池田	綿貫
	3診(予約制)	宮澤		P.M.外来 (第1・3週)	根本		下司			
脳神経外科	1診(予約制)	金子(予約のみ)		中久木	岩室		丸茂		金子(予約のみ)	
	2診	中久木		富田	丸茂		宮田		岩室	
神経内科	1診(午後：再診予約制)	小林/宇佐美		近藤/横野	上村	上村	宇佐美/小林		江川	江川
	2診再診(予約制)									
整形外科	1診初診	堀		福田	仙石		山内		光石	
	2診再診(予約のみ)	福田		仙石						
	3診再診(予約のみ)									
形成外科	1診	笹尾		笹尾	木村		木村		伊藤	
	2診	伊藤		木村	伊藤		笹尾		木村	
	予約再診	伊藤/笹尾/ 木村			伊藤/笹尾/木村 橋本外来					
皮膚科	1診	山本		本田	戸田	山本	本田	本田	戸田	山本(第1・3・4週) 戸田(第2・3・5週) 本田(第1・2・4・5週)
	2診	戸田		山本	戸田	戸田	山本		本田	
	3診									
呼吸器科	1診	林(第2・4週)		内田	林		内田(第2・4週)予約のみ		重森	
	2診	月野		星屋外来 (9:30~11:00) 完全予約制	渡邊		月野		渡邊	
心臓内科	1診(完全予約制)				西山(初診)	西山(15時まで)				
緩和ケア科	予約制		黒丸							黒丸
外科	1診(初診)	赤松		寺村	赤松		李		安田	
	2診(再診)	李		安田	小松原		寺村		赤松	
	3診(再診)			大石			平田			
乳腺外科	1診	沖中		和田	長谷		和田		長谷	
泌尿器科	2診	長谷		成田	多和田		沖中		和田	
皮膚科	1診	高瀬			高瀬				藤井(第2週)	
ペリナティブ	2診								古野	
眼科	1診(午後は予約のみ)	平井	平井	平井	平井	平井	休診(手術のため)		平井	平井
	2診									
	3診									
歯科 口腔外科	1診	山田		河岡	前田		磯部		河岡	
	2診(予約のみ)	河岡		山田	河岡				山田	
	口腔衛生指導(完全予約制)		○		○	糖尿病・口腔ケア 教室(入院のみ)		○		○
専門外来(完全予約制)		顎関節・口腔腫瘍 外来 藤村		〒760-0731 山田(第4週并常駐)		〒760-0731 山田(第4週并常駐)		口腔内関連症状 外来		
外来手術(予約のみ)					○	○		○		
耳鼻いんこう科	1診	片岡		片岡	片岡		片岡		片岡	
小児科	1診(午後予約外来)	石上	西島	石上	神谷	アレルギー外来 石上(第1・3・5週) 内分定外来 神谷(第2・4週)	西島		石上	心臓外来 神谷(第1・3・5週) 西島(第2・4週)
	2診(午後予約外来)	西島	安部	安部	神田	神田	神田	石上	神谷	アレルギー外来 石上(第1・3・5週)
	3診	安部								
健診センター								予防接種 西島		予防接種 石上(第2週) 安部(第4週)
産婦人科	2診				藤矢(第1・3・5週) 半田(第2・4週)				堀川	
3診	阿知波		阿知波		阿知波		阿知波		阿知波	
1階 放射線科	画像診断外来	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原
地下 放射線治療				嘱託医						嘱託医

※診療受付時間は、初診・再診 午前8時から午前11時まで(予約の方は除く) ※整形外科・歯科口腔外科・神経内科の初診は、紹介状をお持ちの方のみとさせていただきます。

※歯科口腔外科の再診は、予約制とさせていただきます。

院内季節の花だより



花の名前：コスモス 秋桜
原産地：メキシコ
花言葉：真心
咲き場所：大駐車場南側/ナミキ周辺



花の名前：ペンタス
原産地：東アフリカ
花言葉：願い事・誠実
咲き場所：救急入口ガーデン



花の名前：松葉牡丹
原産地：中国
花言葉：心の華・可愛らしさ
咲き場所：救急入口ガーデン



花の名前：向日葵
原産地：北アメリカ
花言葉：あこがれ
私の日はあふただけを見つめる。
咲き場所：病院玄関前プロムナード



彦根市立病院

〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882
TEL:0749-22-6050 FAX:0749-26-0754

外来受付時間:

午前8時から午前11時(予約診は午後4時まで)

休診日:土曜日、日曜日、祝日および年末年始